

聖陵 Sei-Ryou

2003.2 Vol.6

盛岡大学聖陵同窓会報

発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0183

岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808 盛岡大学内
電話019-688-5555
ホームページアドレス
<http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/index.html>



CONTENTS

- | | |
|------------------|---|
| 「天まで燃えよ!盛大さんさ」 | 1 |
| 菊池先生を偲んで | 2 |
| 研究室探訪 | 2 |
| 卒業生は今 | 3 |
| 創立50周年記念事業の進捗状況 | 3 |
| サークル便り・インフォメーション | 4 |
| 同窓会事務局から | 4 |

て意味がない。皆で着実な一歩を踏み出すことが大事」そんな気持ちが先輩たちの中にあったからこそ、私達はここまで出来たんだとあらためて思った。

音を踊り子の美しい手の運びで進んで行く。今まで合わせるまでの難しさを感じていた自分であつたが、同じ呼吸を探していくうちに自然と歩幅や一つひき達の掛け声が舞う。それは言葉で言い表せない程の気持ち良さであった。

<お知らせ>
盛岡大学さんさ踊りサークルでは、2003年盛岡さんさ踊りの参加者を募集します。
在学生のみなさんには、4月下旬にガイダンスを行い募集を募ります。卒業生の方々については、電話またはメールにて参加を受付けしますので、6月下旬までにお申し込みください。

<申込み先>
盛岡大学さんさ踊りサークル総リーダー
亀澤美紗緒 携帯090-6257-6362
盛岡大学学生部 TEL019-688-5555(2114)
E-mail:dgakumu@morioka-u.ac.jp

盛岡大学の2002年さん
踊りは、全体ミーティングから始まつた。集まつた多くの仲間達の顔は期待と不安に満ち溢れていた。練習が始まつた。放課後の練習。そこで行われる先輩方の熱心な指導。それぞれがお互いを刺激仕合ひ、仲間意識が育つていくに連れ、私が抱いていた「次は必ず二つ、三つで行

時の流れは早く、本番の日はあつという間に私達の目の前に現れた。スタート位置に近づけば近づくほど、はかり知れない緊張感に襲われた。その緊張感をなんとか抑えつつ、スタート地点に着いた時、リード太鼓が鳴り響いた。すると不思議と緊張感が和らぎ、落ち着いている。やがて

のさんざ踊りが天に届いた瞬間であった。今でもあの時の感動と喜び、体内で生き続けている。来年の方々もさあ始動のその日まで、その時の思いを炎に変え、また新時代の目標に向かい突き進んで行きたいと思う。

八月三日 私達にとって忘れない一日が始まった。盛岡さんさ踊り三日目、いよいよ私達の出番がやってきた。

に加え、全体制では「揃える」ということに専念しなければならなかつた。全体のペースに合わせる難しさというものがあつたが、今思えば恐らくこれが一番充実した時間であったと思う歩幅から始まり、腕の振りや体の向き、一つひとつの動作が次第に揃ってきた時、私には「一歩一歩」という言葉が見えてきた。ような気がした。

とつの動作が合っていくこと、大きな喜びを感じ得た。本当に楽しい時間だった。「キロ」という距離が短く感じられる程で走った。ゴールに着いたとき、彼の顔は充実感と笑顔に満ち溢れていた。

1000Mの青春を駆抜けられた私達は、「奨励賞」を受賞した。「天まで燃えよ！盛大さんさ」のスローガン通り、確かに私は

「天まで燃えよ！盛大さんさ」

盛岡大学さんさ踊りサークル総リーダー
亀澤 美紗津



私は、平成10年に盛岡大学に入学しました。4年間も大学生活を送りましたが、特に何か意義のあることをしたという訳でもなかったので、なぜ原稿の依頼が来たのか不思議です。

サークルにも入っていましたので（入ったせんでしたので）（入ったら入つたで楽しかったのでしょ）、入学時のチャンスを逃すと、入るきっかけをなくしてしまいました。授業が終われば友達と一緒にでかけるか、アパートに帰りテレビを見るかの生活でした。しかも、その授業も毎回欠かさず出席していた訳ではなく、単位もたくさん落としました。つまり、4年間だらだらと暮ら

せんでしたので（入つたら入つたで楽しかったのでしょ）、入学時のチャンスを逃すと、入るきっかけをなくしてしまいました。授業が終われば友達と一緒にでかけるか、アパートに帰りテレビを見るかの生活でした。しかも、その授業も毎回欠かさず出席していた

ては、もっと勉強していれば、もっととバイトしていれば、もっともっと遊んでいれば：と思ふことも多々あります。しかし、若いうちにあんなに自由な時間を過ごせたことは、私の宝です。

友達との飲み会の楽しさも、イトも勉強も、自分の好きなように十分に出来る時間です。今、学生の皆さんも、自分の思う通りに貴重な時間を過ごして下さい。

聖陵同窓会の皆様には、平素から別のご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、このたびの学校法人盛岡大学創立50周年記念事業寄付金募集に際しまして、事業の趣旨にご理解いただき、また多大のご協力を賜り、誠にありがとうございました。

聖陵同窓会の皆様から寄せられました寄付金総額（平成14年2月から12月まで）は62件527500円となっています。なお、平成13年度学校法人全体の実績につきましては、左記の通りとおりなっております。

卒業生は今？



小原ひとみ
平成13年度
英米文学科卒

平成13年度
英米文学科卒

市川優子

平成13年度
英米文学科卒



盛岡大学 国際交流委員会 (MIEC)

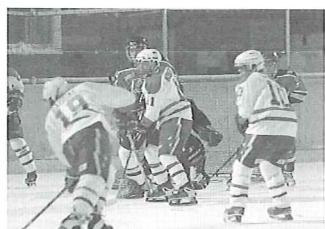


盛岡大学国際交流委員会は平成3年設立、平成13年に十周年を迎えました。構成員は約25人、盛岡大学のセミナーハウスに集まつて活動しています。主な活動内容は盛岡大学へ来る交換留学生の援助や、国際問題に関するディスカッションなどです。

今年度はカナダ・カモーレン大学からの留学生と共に宮沢賢治記念館や石川啄木記念館を訪れ、日本そして岩手の文化の紹介を楽しく行いました。また、日頃は学生たちが中心となって留学生への日本語会話や漢字の書き方などの教室を開いています。これまで、聖陵祭での展示や外部から講師を招いてのシンポジウムの企画・運営、盛岡で開催されたNGOの方の講演会での手伝い等も行いました。年1回、日頃の活動の成果や先生方からのインタビューオンを会報としてまとめています。

そして、MIECの代表の齊藤綾子さん(英米文学科3年)は来年度の盛岡大学交換留学生に選出され、今春カナダ・カモーレン大学へ留学します。MIECは、学内の枠にとどまることがなく盛岡大学から世界を考えている団体です。

盛岡大学 アイスホッケー部



盛岡大学アイスホッケー部は1990年に創部し、今年で13年目になるクラブです。主な活動場所は盛岡市アイスアリーナ、岩手県営スケート場等です。部員のほとんどが大学からアイスホッケーを始めた学生たちですが、みんなアイスホッケーの楽しさを知つて日々練習に励んでいます。中心選手は、児教2年高橋一樹君、チームのポイントゲッターであり、昨年度に続き今年度も岩手県代表として1月下旬に群馬県で行われる国民体育大会に出場します。最近の実績としては平成13年度第1回岩手県大学アイスホッケー選手権大会優勝、平成13年度岩手県アイスホッケーリーグ(Bグループ)で優勝しAグループへの昇格を決めています。

今シーズンの目標は、岩手県アイスホッケーリーグAグループ残留、今後も行いました。年1回、日頃の目標は、東北地区学生アイスホッケーリーグ選手権ベスト4です。今後の試合日程は2月上旬に第41回岩手県アイスホッケー選手権大会、下旬に盛岡市民体育大会、3月上旬に平成14年度春季東北地区学生新人大会が開催されます。岩手県営スケート場や盛岡市アイスアリーナ等を会場として行われます。皆様も学生の氷上での活躍を応援してみてはいかがでしょうか。

盛岡大学のキャンパスが、砂込に移転して12年が経ちました。これまで未整備したキヤンバスの環境も、法人創立50周年を期に、徐々に整備され始め、今年度には、グラウンドの一部が整備され、男女ソフトボール部、ラグビー部、サッカー部などが活動しています。来年度には、グラウンドの残りの部分、テニスコートなどが順次整備され、学生の活動がさらに盛んになることでしょう。

卒業発表会の紹介

インフォメーション

事務局だより

童教育学科第3期生・法人本部職員
(児童教育学科第3期生・法人本部職員)

これから春を迎え、大学生たちの卒業シーズンがきます。このコーナーでは卒業を迎える学生たちの4年間の学習の成果である卒業制作展や発表会を紹介します。

盛岡大学のキャンパスが、砂込に移転して12年が経ちました。これまで未整備したキヤンバスの環境も、法人創立50周年を期に、徐々に整備され始め、今年度には、グラウンドの一部が整備され、男女ソフトボール部、ラグビー部、サッカー部などが活動しています。来年度には、グラウンドの残りの部分、テニスコートなどが順次整備され、学生の活動がさらに盛んになることでしょう。

編集後記

第6号からメンバー一新! 一気に若返りました。と言つても若干1名が平均年齢をさげることに貢献しているだけですが…。そこで新人に一言ずつ。畠村…「忌憚のない感想等、お寄せ下さい」佐藤…「活躍している同級生がいる(自薦他薦を問わず)、取り上げてほしい話題等ございましたらぜひひご一報下さい」以上べつごリニューアルした「聖陵」を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご意見をご要望何でもお寄せ下さい。

【編集委員】佐藤大裕(第17期生)・三戸淳一(第4期生)・畠村とも子(第2期生)・吉田典子(第2期生)

【連絡先】盛岡大学聖陵同窓会事務局
〒020-0183 岩手県岩手郡滝沢町滝沢字砂込808 TEL019-688-5555
E-mail seiryou@morioka-u.ac.jp

●既に終了したもの
★児童教育学科卒業研究美術ゼミナール「児童教育学科卒業研究美術ゼミナール」「第16回盛岡大学卒業制作展」2月28日(金)~3月2日(日)会場は岩手県水産会館5階。作品内容は油彩画、版画、デザイン、立体など。学部の学生だけではなく児童教育学専攻科学生の展示も行われます。「たくさんの先輩方のご来場を心よりお待ちしております。」

このほかにも日本文学科の書道展も開催される予定です。いろいろな展覧会で入賞している学生の作品も展示されることがあります。皆さんお誘い合わせの上、後輩たちの4年間の研究成果をご覧になり、交流してみてはいかがでしょうか。

アイスホッケー部監督佐々木秀樹

（児童教育学科第3期生・法人本部職員）

創立50周年記念事業への ご寄付のお願い

★収入の部

項目	予算額	決算額
総 越 金	811,543	811,543
会 費	3,740,000	3,730,000
雑 収 入	39,700	31,741
特定預金取扱収入	1,000,000	0
合 計	5,591,243	4,573,284

★支出の部

項目	予算額	決算額
事 業 費	2,304,800	1,236,460
事 務 費	50,000	4,599
通 信 費	540,000	537,830
会 議 費	30,000	13,555
慶弔 費	30,000	1,344
旅費交通費	100,000	41,580
財政基金繰入支出	2,500,000	2,500,000
予 備 費	36,443	0
計	5,591,243	4,335,368
総 越 金	0	237,916
合 計	5,591,243	4,573,284

聖陵同窓会でも、今年度の事業として、用具庫2棟を寄贈しました。盛岡大学は、教学はもちろん様々な活動における環境が整備され、ますます充実していくと思われます。

さて来年度同窓会では、初めての「総会」を計画しています。これを期に、新たな同窓会の一歩を踏み出したいと思います。詳細は大学のご協力で開設できた同窓会ホームページに随時掲載します。多くの会員の皆様の参加をお願い致します。